

家族会川崎地区会の海上自衛隊第2術科学校見学を支援



海をバックに記念写真



資料館にて説明を受ける参加者達

機関部教育施設を見学している様子

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 海老原一陸尉）は、8月27日（月）、海上自衛隊第2術科学校（横須賀市田浦港町）において、広報官2名をもって、家族会川崎地区会21名の基地見学を支援した。

当日は天候にも恵まれ、最初に第2術科学校の資料館の見学を行った。この資料館では、山本五十六元帥海軍大将の軍刀をはじめ、歴史的に大変貴重な物が多く展示されており、見学者達は「こんな歴史的に貴重な史料が近くの自衛隊基地にあるとは知らなかった」「書物などに書かれている当時の兵隊さん達自筆の文字がとても上手くて感心した」などの声があり大変満足した様子であった。

次いで自衛艦機関部の展示施設へ移動した見学者から「こんな大きな機関部を船内で整備している隊員はすごいな」という声が聞こえ、とても感心しているようだった。

川崎出張所は、「今後も、様々なイベントを有効に活用し、地域協力者及び募集対象者への理解と協力を得て、募集成果に繋げていきたい」と考えている。

即応予備自衛官雇用企業訪問支援

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 兼本貢祐）は、9月26日（水）、第31普通科連隊本管中隊長（3等陸佐 石田利光）の即応予備自衛官雇用企業訪問支援を行った。

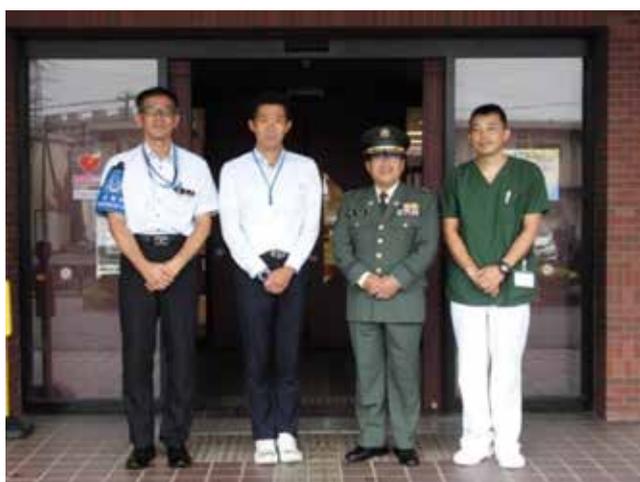
この企業訪問は、即応予備自衛官雇用企業に対し、社員たる即応予備自衛官の部隊における活動状況を報告するとともに、日ごろから訓練出頭にご協力を頂いている事に対する感謝を直接伝えることを目的として毎年実施しているものである。

訪問先である特別養護老人ホーム白寿荘では、施設案内をして頂いたのち、社員たる即応予備自衛官の勤務状況を確認した。

企業からは「即応予備自衛官から、自衛隊の活動状況を聞くことにより、国防への感心も深まり自分達にとって良い刺激になる」「即応予備自衛官の国防への高い志を感じるので、引き続き訓練出頭ができるよう職場環境を作りたい」など、大変有難い言葉を頂戴した。

また、石田中隊長からは「企業主の方々にもこのような言葉を頂けるのは、普段まじめに勤務し、周りからの信頼を得て訓練に出頭している即応予備自衛官のおかげです」と日々訓練に励む即自隊員を労う言葉があった。

神奈川地本は「今後も指定部隊と連携し、雇用企業からの理解と協力の確保に努め、即自隊員を全力でサポートしていきたい」としている。



左から神奈川地本 松本事務官、特別養護老人ホーム白寿荘 工藤施設長、石田中隊長、長谷川即予備2曹